三重県総合税システム設計、機器調達、構築、データ移行・導入、運用・保守業務における現行システムの概要と課題

令和９年●月

三重県総務部税務企画課

１　本仕様書について 1
（１）はじめに 1
（２）本仕様書の構成 2
（３）必須、提案、想定 3
２　県税のあらまし及び現行システムの概要 3
３　現行システムにおける税目単位等の業務概要と課題（懸案事項） 6
（１）現行システムを利用している税目単位等 6
（２）現行システムにおける機能詳細 8
（３）現行システムにおける帳票詳細 9
（４）現行システムにおけるデータ連携 10
（５）現行システムにおける運用保守業務 10
（６）現行システムにおけるデータ修正・抽出定例案件 11

１　本仕様書について

（１）はじめに

本仕様書は、三重県総合税システムの設計、機器調達、構築、データ移行・導入及び運用・保守業務（以下、「本委託業務」という。）において、現在利用中の三重県総合税システム（以下、「現行システム」という。）にかかる概要と課題について記載している。（以下、本仕様書を「現行システムの概要と課題」という。）

本委託業務における仕様書は、複数の仕様書に分割されているため、注意すること。詳細は、以下の「表　本委託業務における仕様書の整理」を参照すること。

仕様書名	仕様書の概要
基本仕様書（本仕様書）	・本委託業務における業務の目的や概要、基本的な要件（契約期間や履行場所、支払い等）を記載。
共通仕様書	・本委託業務で実施する各種業務、及び、各種機能に共通して関連のある要件（共通要件）を記載。
業務仕様書	・本委託業務における「設計業務」から「運用・保守業務」までの各種業務にかかる詳細な要件（業務要件）を記載。
機能仕様書	・本委託業務にて実現する必要がある各種機能等にかかる詳細な要件（機能要件）を記載。
現行システムの概要と課題	・現在利用中の三重県総合税システム（以下、「現行システム」という。）にかかる概要と課題を記載。

表　本委託業務における仕様書の整理

また、仕様書全体における本仕様書の位置付けは以下の「図　仕様書全体における本仕様書の位置付け」のとおり。

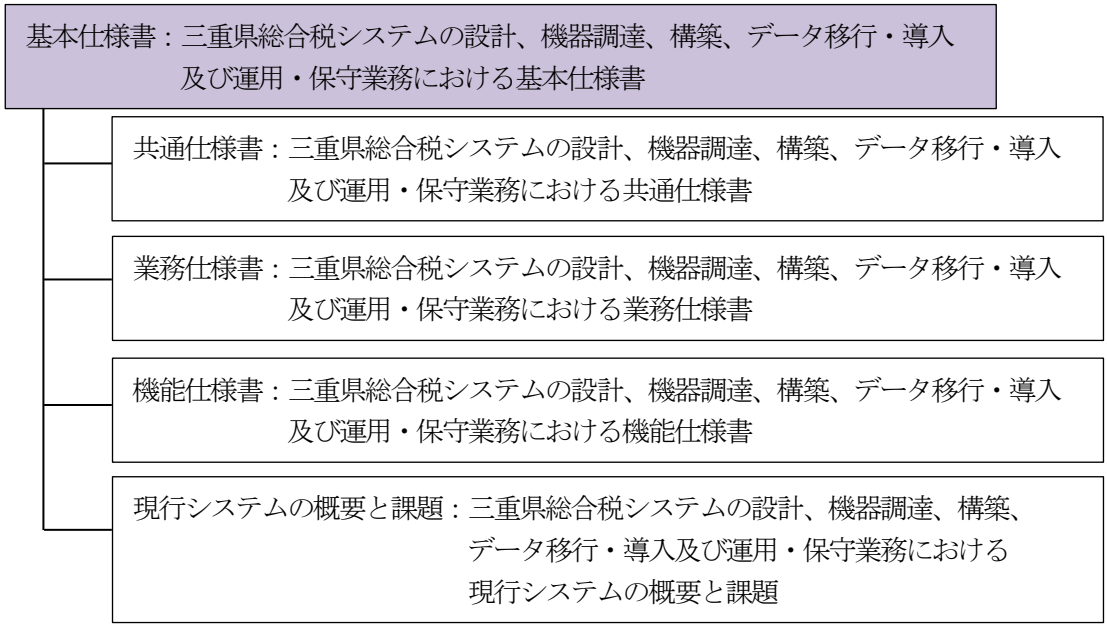

図　仕様書全体における本仕様書の位置付け

（２）本仕様書の構成

本仕様書の構成は以下のとおり。本仕様書における各種資料として、基本資料１から基本資料２を参照すること。

略称	正式名称	概要
現行システムの概要と課題（本仕様書）	三重県総合税システムの設計、機器調達、構築、データ移行・導入及び運用・保守業務における現行システムの概要と課題	現在利用中の三重県総合税システムにかかる概要と課題を記載
現シ資料１	現行システム JOB フロー（法人調定）【抜粋】	現行システムの JOB フロー（サンプル）を記載
現シ資料２	現行システムプログラム仕様定義（法人調定データ抽出）【抜粋】	現行システムのプログラム仕様（サンプル）を記載
現シ資料３	三重県総合税システム維持管理業務委託　仕様書	現行システムの維持管理業務にかかる仕様書を記載
現シ資料４	税目単位等の業務概要と課題（懸案事項）	現行システムにおける業務概要と課題を記載
現シ資料５	税目単位等のスケジュール	現行システムにおける税目単位の月間スケジュール/年間スケジュールを記載
現シ資料６	現行システムの機能一覧	現行システムにおける機能一覧を記載
現シ資料７	現行システムの帳票一覧	現行システムにおける帳票一覧を記載
現シ資料８	現行システムのデータ連携一覧	現行システムにおけるデータ連携の一覧を記載
現シ資料９	現行システム運用保守業務一覧	現行システムにおける運用保守業務の一覧を記載
現シ資料 10	データ修正・抽出定例案件一覧	現行システムにおけるデータ修正・抽出にかかる定例案件作業一覧を記載

表　本仕様書の構成

（3）必須、提案、想定

本仕様書では、各項目を「必須」「提案」「想定」に分類した形で仕様書上に記載している。必須、提案、及び、想定にかかる詳細は次の通り。なお、本文中には「必須」は記載せず（本書に記載されている要求事項は必須）、「提案」「想定」のみを記載するものとする。

分類	詳細
必須	本県が求める仕様であり記載内容通り必ず実現すること
提案	本県が受託事業者に求める提案要件であり受託事業者は必要に応じて提案を行うこと 提案項目は、文頭に【提案】を記載する
想定	本県が必須要件、提案要件に対して想定している内容であるため、必ずしも実現する必要はないが、受託事業者は提案にあたり参考にすること 想定項目は、文頭に【想定】を記載する <u>注意事項</u> ・ 想定は、直上の必須要件、提案要件についての想定を記載している

表　必須と提案

※ 仕様書上における、「必須」「提案」「想定」の具体的な記載例については、「基本資料１　「必須」「提案」「想定」の具体的な記載例」を参照すること。

２　県税のあらまし及び現行システムの概要

本県における県税のあらましは以下のとおり。

項目	内容
県税収入規模	年間約 3,074 億円（令和６年度実績）
自動車登録台数	約 80.4 万台（令和６年度） （定期課税対象：約 74.5 万台）
法人県民税課税件数	約 55,000 件（令和６年度実績）
取扱税目	【法定税目】 個人県民税（均等割・所得割）、県民税利子割、県民税配当割、県民税株式等譲渡所得割、法人県民税（均等割・法人税割）、個人事業税、法人事業税、不動産取得税、県たばこ税、ゴルフ場利用税、軽油引取税、自動車税、鉱区税、県固定資産税、狩猟税、地方消費税 【法定外税目】 産業廃棄物税 【超過課税】 みえ森と緑の県民税

	【その他関係する国税】 特別法人事業税、地方譲与税、森林環境税

表　三重県における県税のあらまし

※　取扱い税目欄については、「基本仕様書　2　業務概要（6）機能要件」における「表　機能概要」欄と同じ

また、現行システムの概要は以下のとおり。

項目	内容
システム規模	画面数：約 240 画面 帳票数：約 1,200 帳票 プログラム：約 3,100 本
使用機器及び台数	○センターサーバ 3 台（検証機 1 台含む。） ○VM サーバ 3 台（検証機 1 台含む。） ○バックアップサーバ 1 台 ○通信サーバ 1 台 ○ストレージサーバ 2 台（検証機 1 台含む。） ○業務用端末 339 台 ○維持管理作業用端末 27 台 ○レーザープリンタ 58 台 ○ラインプリンタ 1 台
業務系統	○課税系 個人県民税、県民税利子割、個人事業税、法人二税、不動産取得税、県たばこ税、ゴルフ場利用税、鉱区税、狩猟税、県固定資産税、軽油引取税、旧法による税、産業廃棄物税、配当割・譲渡割（県民税配当割・株式等譲渡所得割）、自動車二税（種別割・環境性能割） ○共通系 あて名管理、収納管理、滞納整理、返戻文書、帳票印刷、運用管理
関係外部システム （データ入出力先） 及びデータ連携方法	○eLTAX（地方税ポータルシステム） 電子申告・共通納税：ファイル連携 ○マルチペイメントネットワーク収納情報 ：ファイル連携

	○コンビニ・スマートフォンアプリ収納情報 ：ファイル連携 ○指定金融機関収納情報・還付依頼情報 ：データ伝送 ○金融機関口座振替依頼・結果情報 ：データ伝送（一部ファイル連携） ○自動車・軽自動車 OSS：ファイル連携 ○自動車税納付確認システム（JNKS） ：ファイル連携 ○J-LIS（地方公共団体システム機構）が運用する各業務システム 自動車登録・検査情報、たばこ流通情報、軽油流通情報：ファイル連携 ○登記情報連携システム：ファイル連携 ○三重県財務会計システム：ファイル連携 ○国税連携システム：ファイル連携

表　現行システムの概要

現行システムに係る年度毎の経費は、以下のとおり。

	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
維持管理・運用	74,520	81,423	82,118	82,038	81,708	81,708	81,827
リース（サーバ・端末）	54,238	54,238	54,238	54,238	58,504	50,317	62,926
リース（プリンタ）	3,089	3,089	3,089	3,089	3,089	2,952	3,526
ソフトウェア	1,251	1,263	1,274	1,274	1,274	1,274	4,091
検証機（購入,保守）	1,556	1,570	1,584	1,822	1,902	34,337	2,900
改修費用	218,070	60,901	377,021	102,567	287,657	52,456	85,893
機器更新・ セキュリティ向上						274,923	78,977
合計	352,724	202,484	519,324	245,028	434,134	497,967	320,140

表　現行システムに係る経費（単位：千円）

※　改修費用には、制度改正にかかる改修の他、本県の組織改編や電子申告等のサービス拡充へ対応するための費用等、全ての改修費用を含む。

※　主な改修内容は以下のとおり。

- H30：　121,031 千円　自動車取得税廃止及び環境性能割創設
- R2：　160,298 千円　電気供給業に係る法人事業税の収入金額課税方式変更
- R2：　96,046 千円　eLTAX での金融所得三割の電子申告等対応
- R4：　88,233 千円　地方税共通納税システム対象税目拡大対応
- R4：　88,545 千円　法人課税業務集約化

※　本体分の機器はリースにより、検証機は購入により調達している。

現行システムにおける JOB フロー及びプログラム仕様定義について、「現シ資料１　現行システム JOB フロー（法人調定）【抜粋】」及び「現シ資料２　現行システムプログラム仕様定義（法人調定データ抽出）【抜粋】」を参照すること。なお、いずれも抜粋版のため、注意すること。

また、現行システムを運用するために締結している維持管理・運用業務の詳細については、「現シ資料３　三重県総合税システム維持管理業務委託　仕様書」を参照すること。

３　現行システムにおける税目単位等の業務概要と課題（懸案事項）

（１）現行システムを利用している税目単位等

本県の取扱税目等の内、現行システムを利用して実施している主な税目等は、以下のとおり。

項番	税目名・業務名
1-1	個人県民税
1-2	県民税利子割
1-3	個人事業税
1-4	法人二税
1-5	不動産取得税
1-7	県たばこ税
1-8	ゴルフ場利用税
1-9	自動車税
1-10	鉱区税
1-11	狩猟税
1-13	軽油引取税
1-15	産業廃棄物税
1-16	配当割・譲渡割
2-2	収納管理
2-3	滞納整理

表　本県において実施している主な税目等

※　主要な税目単位等のみを記載している。

※　項番「1-1 個人事業税」から「1-16 配当割・譲渡割」は、税目単位の業務、項番「2-2 収納管理」「2-3　徴収（滞納整理）」は、税目横断の業務。

これら 15 業務について、「業務の概要」「大まかな業務の流れ」「業務の詳細」「課題の抽出と懸案事項の把握」を「現シ資料４　税目単位等の業務概要と課題（懸案事項）」に、各業務における年間スケジュール、月間スケジュール、詳細スケジュールを「現シ資料５　税目単位等のスケジュール」にそれぞれまとめているため、内容を確認すること。

なお、これらの資料に記載されている内容は、業務の概略を示したものであり、詳細が省略されているため、注意すること。

各資料における詳細内容は、以下のとおり。

項目名	記載内容
業務の概要	・ 当該税業務における概要と本県の対応状況を簡単に把握できるよう、箇条書きでわかりやすく記載している。 ・ 本県の令和６年度における課税件数・課税額（収納管理と徴収（滞納整理）では、収納件数、滞納処分件数、収納額、滞納処分額）を記載している。 ・ 当該業務を担当している本県の業務体制を記載している。
大まかな業務の流れ	・ 当該税業務の全体を、担当者や、実施するタイミング、進捗状況等に応じて、複数の大まかな業務単位（詳細業務）に分割し、それぞれの詳細業務でどのような作業をしているかについて記載している。 ・ 便宜上、「１　申告/受付」のような形で項番が振られていりが、必ずしも、その順番通りに作業していないため、注意すること。
業務の詳細	・ 「大まかな業務の流れ」で分割したそれぞれの業務単位で、さらに細かくどのような作業を実施しているかについて記載している。 ・ 当該詳細業務がシステム化されているか、手作業で実施しているか、などについても、記載している。
課題の抽出と懸案事項の把握	・ 「大まかな業務の流れ」で分割したそれぞれの詳細業務単位で、課題や懸案事項について記載している。 ・ 内容として、現行システムに対する不満や要望だけでなく、次期システムに対する期待することなどについても記載している。

表　税目単位等の業務概要と課題（懸案事項）の項目詳細

項目名	記載内容
詳細スケジュール	・ 各種作業に対する処理サイクル（月次、年次等）、や実施時期（毎月第５営業日等）を記載している。
月間スケジュール	・ 各業務における 2024 年 4 月から 2025 年 3 月末まで（12 か月分）の月間スケジュールについてまとめている。

	・ 月例作業だけでなく、年間作業についても記載している。 ・ 数か月分を比較することで、毎月実施している作業を容易に確認することが可能。
年間スケジュール	・ 各業務における 2024 年 4 月から 2025 年 3 月末まで（12 か月分）の年間スケジュールについてまとめている。 ・ 年間スケジュールには、年間作業のみ記載している。（月例作業は省略している。） ・ 毎月の定例作業を除き、年間スケジュールとして、どのような作業を実施しているかを容易に確認することが可能。
詳細スケジュール	・ 各種作業に対する処理サイクル（月次、年次等）、や実施時期（毎月第５営業日等）を記載している。

表　税目単位等のスケジュールの項目詳細

（２）現行システムにおける機能詳細

現行システムは、以下の各機能から構成されている。

項番	税目名・業務名
1-1	個人県民税
1-2	県民税利子割
1-3	個人事業税
1-4	法人二税
1-5	不動産取得税
1-7	県たばこ税
1-8	ゴルフ場利用税
1-9	自動車税
1-10	鉱区税
1-11	狩猟税
1-12	県固定資産税
1-13	軽油引取税
1-14	旧法による税
1-15	産業廃棄物税
1-16	配当割・譲渡割
2-1	あて名管理
2-2	収納管理
2-3	滞納整理
2-5	返戻文書
2-6	自税証明書
2-7	共通

表　現行システムにおける機能構成

※ 項番「1-1 個人県民税」から「1-16 配当割・譲渡割」までは、税目単位の機能（主に課税業務に関するもの）、項番「2-1 あて名管理」から「2-7　共通」は、税目横断の共通的な機能。

※ 「1-12 県固定資産税」「1-14 旧法による税」は、現行システムに機能として残存しているが、利用頻度が低いことから実際の業務では利用していない。

これらの現行システムにおける各種詳細機能について、現行システムの詳細設計書をベースとして、全ての機能を「現シ資料６　現行システムの機能一覧」にて、以下により整理しているため、内容を確認すること。

項目名	内容
サブシステム名 プロセスグループ プロセス名	・ 現行システムにおける各種機能の分類と名称を記載している。 ・ サブシステム名には、「1-1 個人県民税」から「2-7 共通」が記載されている。
機能要件	・ 当該プロセスにおける機能の詳細について記載している。
処理サイクル	・ 業務の実施時期や実行頻度を記載している。
入力画面 入力票名	・ 現行システムにおける入力画面の名称と画面番号を記載している。 ・ 〈***〉の形式で示されている 3 桁の数字が画面番号を示す。
入力箇所	・ 入力を行う事務所名を記載している。
出力帳票	・ 現行システムにおける出力帳票名を記載している。 ・ 出力帳票の詳細は、「現シ資料８　現行システムの帳票一覧」をご確認ください。
出力箇所	・ 出力を行う事務所名を記載している。

表　現行システムの機能一覧の項目詳細

（３）現行システムにおける帳票詳細

現行システムにおいて、出力可能な帳票については、「現シ資料７　現行システムの帳票一覧」にて、以下により整理しているため、内容を確認すること。

項目名	内容
サブシステム、帳票名、帳票 ID	・ 現行システムにおける各種帳票の分類と名称、帳票 ID を記載している。
プロセスグループ名 プロセス名	・ 「現シ資料６　現行システムの機能一覧」における関連するプロセスグループ名とプロセス名を記載している。
出力形式	・ 出力されるファイルの拡張子を記載している。
法定帳票	・ 法令や条例で定められている帳票に〇を記載している。

制定帳票	・ 帳票の印字サイズが厳密に定められている帳票に〇を記載している。
出力形態	・ 帳票の出力形態（個別/一括）等を記載している。

表　現行システムの帳票一覧の項目詳細

（４）現行システムにおけるデータ連携

現行システムにおける外部システムとのデータ連携については、「現シ資料８　現行システムのデータ連携一覧」にて、以下により整理しているため、内容を確認すること。

項目名	内容
業務システム名	・ 現行システムにおける税目等を記載している。
送信方向	・ データ連携における送信方向を記載している。
連携先システム名	・ データ連携を行っている他システムの名称を記載している。
連携内容	・ データ連携を行っている内容を記載している。
処理サイクル	・ データ連携を行う頻度について、「随時」「日次」「週次」「月次」「年次」を記載している。
連携方式	・ データ連携の方式として、「USB メモリ」「DVD」「ファイル連携（ファイルサーバ)」「CD-RW」「ファイル連携（HULFT)」を記載している。
自動・手動	・ データ連携を自動で実施しているか、手動で実施しているかを記載している。
ファイル形式	・ データ連携におけるファイル形式として、「固定長ファイル」「XML」「CSV(ZIP 圧縮)」「TSV(タブ区切り)」「全銀データ」「CSV」を記載している。
連携ネットワーク	・ データ連携を実施する際に利用するネットワークを記載している。

表　現行システムのデータ連携一覧の項目詳細

（５）現行システムにおける運用保守業務

現行システムにおける運用保守業務については、「現シ資料９　現行システム運用保守業務一覧」にて、以下により整理しているため、内容を確認すること。

項目名	内容
分類	・ 現行システムにおける運用保守業務の分類を記載している。
作業	・ 運用保守業務における作業名を記載している。
内容	・ 運用保守業務にかかる作業内容を記載している。
税目（サブシステム)	・ 関連する税目（サブシステム）を記載している。

頻度	・ 頻度として、年次、月次、日次、随時等を記載している。

表　現行システムの運用保守業務の項目詳細

（６）現行システムにおけるデータ修正・抽出定例案件

現行システムにおけるデータ修正・抽出定例案件については、「現シ資料１０　データ修正・抽出定例案件一覧」にて、以下により整理しているため、内容を確認すること。

項目名	内容
操作	・ データ修正・抽出定例作業にかかる操作種別として、データ修正、データ抽出（SQL 以外）、データ抽出（高難度）、データ抽出（低難度）を記載している。
作業名	・ データ修正・抽出定例作業における作業名を記載している。
税目（サブシステム）	・ 関連する税目（サブシステム）を記載している。
頻度	・ 頻度として、年次、月次、日次、随時等を記載している。

表　現行システムのデータ修正・抽出定例案件の項目詳細